



7月18日(火)

きゅうしょくしつ  
給食室からみなさんへ

今日の給食は、バターライス・フェジョアード・ダップーリ・コーヒーゼリー・牛乳です。

今日はブラジル料理です!!

# ブラジル連邦共和国ってどんな国?



## ●位置・地形



ちょうど日本の反対側に位置するブラジル連邦共和国(以下ブラジル)は、面積が約851.2万平方キロメートルと南米で最も大きな面積を有する広大な国です。

ブラジルの人口は、現在約1億9,840万人で、世界的に見ると、中国、インド、アメリカ、インドネシアに次いで、第5位の規模を有しています(「世界人口白書2012」より)。

## ●気候



アマゾン地域の熱帯雨林地域から南部の温帯湿潤気候まで、様々な気候帯を有しています。

## ●民族・文化



～豆知識～

「銀ぶら」の語源は「銀座をぶらぶら散歩する」ではなく、「銀座でブラジルコーヒーを楽しむ」こと!!

「移民の国」とも言われるブラジルは、暮らしている人々も様々で、北部は先住民であるインディオやサハラ砂漠西方から来たアフリカ系、中部はポルトガル系移民の他、イタリア系も多く、サンパウロ近郊には日系人や、シリアやレバノンなどの中東系の人々もたくさんいます。南部ではウクライナやポーランド、ドイツなどヨーロッパからの移民、アルゼンチンに近い地域では「ガウーショ(牛飼い)」の文化も見られます。このように、多種多様な人々が生活しているブラジルは、人種だけではなく「文化のるつぼ」でもあり、多様な文化や生活様式が育まれ共存しています。

## ●食文化

中南米一の広い国土面積を持つブラジルでは、地方ごとに非常に特色のある食文化が見られます。ブラジルの食文化は、16世紀のポルトガルによる植民地化がもたらしたものの、先住民「インディオ」の食文化、各地の気候風土が生み出した豊かな食材、その後の移民文化の広がりとともに、さまざまに発展しました。主食は主に、米と豆です。

世界最大の農業大国であり、砂糖、コーヒー、オレンジジュース、鶏肉、たばこ、トウモロコシ等は、世界一の輸出額を誇ります。日本も多くの一次産品をブラジルから輸入しており、私たちの食卓には、様々なブラジル産の食品が並んでいます。



## ●ブラジル料理(少しだけ)



フェジョアード・・・「フェイジョン」という黒豆と干し牛肉や豚を使ったソーセージ類などをこってりと煮込んだ料理で、ご飯にかけてオレンジをつまみながら食べます。

シュラスコ・・・串刺しにされた肉のかたまりを炭火でじっくり焼き、ナイフでそぎ落としながら食べる肉料理です。味つけの基本はシンプルに岩塩とこしょうのみ。元々は、牧畜が盛んな南部で、「ガウーショ」という牧童たちが食べていたものです。



## ●ブラジルとオリンピック



2016年にリオで行われたオリンピック、パラリンピックは記憶に新しいと思います。実は、ブラジル国内及び南アメリカ大陸、そしてポルトガル語圏でオリンピックが開催されるのは初めてでした。

ブラジルの夏季オリンピックへの参加は1920年のアントワープ大会からで、メダルは金30個、銀36個、銅61個、獲得しています。中でもリオ五輪ではもっとも多いメダル獲得数を記録しました。冬季は1992年のアルベールビル大会からで、まだメダルの獲得はありません。

## ●ブラジルとパラリンピック

ブラジルはパラリンピックが強く、近年ではオリンピックよりも好成績を残しているそうです。1972年ハイデルベルク大会から出場しており、92年バルセロナ大会は金3個、銅4個で32位、96年アトランタ大会は37位でしたが、2000年シドニー大会は24位、04年アテネ大会では14位、08年北京大会では9位、そして前回の12年ロンドン大会では金21個、銀14個、銅8個を獲得し7位に入り、着実に順位を上げてきています。

